

⑤ 東北中央自動車道 相馬西道路整備事業

授賞機関 国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

キーワード 復興支援道路、早期開通、地域活性化

全建賞審査委員会の評価ポイント

常磐道と東北道とを結ぶ東北中央自動車道（相馬～福島）の一部区間であり、広域観光や地域産業の活性化、迅速な救急医療活動などに貢献する道路の整備事業。震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられた路線であり、早期開通を実現した点が評価された。

1. はじめに

相馬西道路は常磐自動車道相馬ICとの接続を起点とし、相馬山上ICまで、延長6.0kmの自動車専用道路（無料）を整備する事業である。福島県沿岸部の常磐自動車道と内陸部の東北自動車道を結ぶ東北中央自動車道（相馬～福島）約45kmの内、起点側に位置している。東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして復興支援道路に位置づけられ、平成23年度事業化から整備を進め、令和元年12月22日に開通となった。



開通式テープカットの様子

2. 事業の概要

相馬西道路は被災した沿岸部と内陸部を連携し、広域観光や地域産業の活性化、迅速な救急医療活動などに貢献し、東日本大震災からの復興を支援するため、一日も早い開通が強く望まれていた。

事業推進に当たり、相馬市内に出張所を開所した。いわき市内にある事務所から現場までの移動時間は震災の影響により片道3時間を要していた状況を改善、用地交渉や工事監督業務を円滑にした。また、施工においてはICT技術を取り入れ、施工の効率化を図るとともに施工管理を簡素化するなど、様々な対策により、事業化から8年9ヶ月での開通を達成する事が出来た。



ICT施工の様子

3. 事業の成果

今回の開通により、地域の観光交流促進や物流活動の支援が期待される。福島県沿岸部に新たな地域の拠点となるロボットテストフィールドが運用となっているが、開通を契機に、相馬～福島間のバス路線がロボットテストフィールドまで延伸されるなど、早速成果が現れている。

また、東北中央自動車道（相馬～福島）は令和2年度全線開通予定となっており、相馬市役所から福島市内の第三次救急医療施設までの所要時間を約25分短縮する。これまで課題であった線形不良区間の回避とあわせて、迅速で安定した救急医療活動に貢献する。

4. おわりに

東日本大震災により落ち込んだ相馬地方、福島地方の観光入込客数は、震災前の状況まで着実に回復している。また、相馬地方では東日本大震災以降、企業活動において施設新增設件数や設備投資額が年々増加傾向にある。

今回の相馬西道路開通及び今後の東北中央自動車道（相馬～福島）の全線開通により、更なる広域ネットワークが形成され、相馬地方のより一層の地域活性化が期待される。

賛助会員 岩田地崎建設(株)、三井住友建設(株)、オリエンタル白石(株)、日本ファブテック(株)、世紀東急工業(株)、(株)フジタ、(株)横河ブリッジ、(株)復建技術コンサルタント、大日本コンサルタント(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ